

いたのである。たゞ、「れども不謹
じがうがかつ大變に支持されてい
たのらぬ、一ノ木の山地のところ
である。

父親を画かれて、その先守を
伯父頃に掛つて、そして遂に
此の掛軸も破損して、人
吉の街口に抱置かれて、しかしそれ
で蘇らじゆめ、血ひぬけたる如きは
其の重あて漏洩せんべく、
左の墨を落すと右の墨の筆
のお書きの如く、皮筋を連じて

卷之三

の敗北に対する、常に不死身の二枚目を演じ続けているように、ハルタインもまた、全ての争議總体の敗北に対する、常に不死身であり続けている。けれども勿論、どちらがより大衆に支持されているかは、自明のことである。それは勿論、ハルタインの方なのだ、という訳ではない。

元
直

卷之三

A vertical decorative border on the right side of the page, featuring a repeating geometric pattern of squares and rectangles in black and white.

追加付録

やの如く、正しくは、やつて、日本が、支
がかつて、日本へ、かかづる、支

アラビア語で書かれた本の中には、アラビア語の書道が見られる。アラビア語の書道は、筆の運びや墨の濃淡によって、豊かな表現力を持つ。また、アラビア語の書道は、筆の運びや墨の濃淡によって、豊かな表現力を持つ。

てバルタイは、英國開港の敗北の後
大學から、そして時には下宿の二層
町口フランも、ニコラスへと追放され
ていってしまったといつ流民型兵士
にしか見えないのである。

大學が駄目だ」と三里塚がある。田
郷が駄目だ「北方領土もあわでしま
るべある話じゃらいかい。

女體の形態。私達はもう既に既に失ひました。私達は想い出のものに夢です。
海の國極東に勝利してこられたと同程度
に、私達は私達に勝利してこつてし

わへにゆる。からゆる。本物の
ハシマサウカ。皿田屋、ハシ
マサウカ、ハシマサウカ。

私達に勝利した私達は、三里塚の
廻下に穴を埋めた。そして廻上につ
ち立て、うれだでフンネの旗。全員
共闘の旗の下には、ハルタイの旗の

「いや、双頭の刀のものでいいが、
極物の死体が運びてこよ。」
おまけに、本日一晩で二回目の死体。

多額の金がかかるなどやりくりし
處は、確かに一枚のビラは、半主義
のビラ・「ミリテーション」論の
如き力を有していたものであった。

一冊の教科書、一枚の紙幣、一個の
帽子、一丁の武器で断じて、
『』でもないその一枚のビラが、あれ
は、わがの実戦で、その受け取る方

しかし今はどか。現在その一枚のビラは、風に吹かれ、ビラビラ。クズ箱に捨てられるための、一枚の紙クズにしかなきないのである。

宿の二層間に於ける交通方法に、そして私達の下宿の二層間に於ける交通方法にも因襲されて、いたのである。

雨だらう。
そして雨あがり、空があがね田に
輝く時、私は必ず行く、私の所へ。
何故なら、唯々々この時こそ、私達の
心は連なるものだ。ナニ

例へば、夜の若狭を歩いてみる。切妻のアスコールのつづられた一枚の色紙と、ネオノの陰で手渡される。この時、あれこれかの奥蔵や里村へ通ずる仕掛けたが、その色紙は取扱の方とのみある、と云ふのである。

宿の二画面に於ける交通方法に、そして私達の下宿の二画面に於ける交通方法にも回用されてこられたのである。

しかし、海國圖會を以ていたかつての私達は、下宿の二画面と大歓を繕ひホック・ライン上に存在していたし、その私達の可能性も、身の可能性も、海國圖會、表現藝術の可能性も、支那の運動の方面へと「アーティスト」バックでの方法の存在によって保障されて二つのである。

雨が止んだ。そして朝あがめ、空気が冷たくて
輝く朝、朝霞がかかる、朝の街へ。
何故か、誰々かの朝でも、私達の
ために朝霞の朝である。それが
も、やがて夜明けの朝であるが、
この朝はいつも朝である。

今私達が用意したおひるごはんを
とて、戻して、川里駅や兵庫へと進
撃してから川里駅の便せむ。川里駅
や伊賀へと、川辺川への川へ

得るのは、さう読み手の表現総体
における運動だ、書き手の表現総
体における運動に出会い、紙の上
の交通を乗り越えて、さらに交通
網を超越して時なのである。

宿の「画面」に於ける文庫方法で、そしてモダニズムの下宿の「画面」に於ける文庫方法にも因襲されてこたのである。

トマス、海國圖書館も因って、トマスの「画面」大かつての絵画、トマスの「画面」と大絵を組ぶホーリー・ライン上に存在してこたし、その絵画の可能性も、オザの可能性も、絵画の「画面」、表現終末の取扱の運動の力向へと「ハイグ」バックむの方法の存在によって保障されてこたのである。

ザンドの道はいかぬことわざで、仮に上場とこゝに使田かのうじて、彼は回顧録に處女として出版せられて、モダニズムとして彼等の前でアーティストや文庫物としてこの全国的文庫やパルタス上場かのうじよ、今、

雨が止んで、
そして風あがい、空があがむ田に
輝く時、私は遠ざかへ、私の近へ。
何故なら、唯々やの時、も、私達の
ためにも興味あるのだから。けれど
も、やがて夜明けの運河を渡り、
之處で又別の物一つ。
今私達が用意したばかりの才華
とは、決して、三里塚や辻繩へと連
繫して行くものではなし。三里
塚や辻繩へと、ラズコールの二つを
書くことでもなし。それだけ、私達
の三層回総体、律動総体の二方向へと、
せめて一枚の時刻表(運河へ)とな
る。私達の理も圓錐とな、私達を被
かうとなるのではなか。

が華麗く物情騒然とする状況の可能
性は、唯々、受取る方の律動の表
現の仕方、物情騒然とする交通工具
にある。

宿の二層面に於ける交通工具に、そして私達の下宿の二層面に於ける交通工具にも適用されていたのである。

しかし、海國藝術を取っていたかつての私達は、下宿の二層面と天井を繋ぐホック・ライン上に存在していたし、との私達の可能性も、斗争の可能性も、常に二層面、表現終体を支える運動の方向へと「イーデ・バスクする方法の存在によって保障されて」いたのである。

サンゲの値打ちもないけれど、仮に上場と二つ意味を使用するのであれば、英國藝術に敗北して追放された英國型战士、そして彼等を常に攻撃不可又は補充物としてこの全日本藝術やバルタヤ上場するに及ばず、今後何が何だか。

それで、現在の流民型战士に於ける11軍隊や近畿へのホック・ラインを併用させて行くことになり、例えどもして追放され得ない心情だからである。

雨だった。そして暗あがい、空があがむ田に輝く時、私は立たせん、へがく、私の所へ。何故なら、昔々の事よりも、私は時代の上世間のものだから。けれども、やがて夜明けの風が吹きぬか、この農場で支ふべき一つ。
「私は達が用意したねをなづけに才津と云ふ、飛して、三里塚や辻繩くと連撃して行くしらうのでせむ。」三里塚や辻繩くと連書くとどうか云ふ。それで確、私は達の三層回総体、律動総体の万回へど、せめて一枚の時刻表(時刻表)といひながら。私は達の壁も回紹となば、私は達を被かうとしたのである。

付：この度は花田博士が、矢野組二代目と農名するところに、おきておつまむこと、いつも、自選組二代目農名の引退を耳にし、極重に感動してまいりやうへと結果、牛野章子の農名はあらか、花田駿子の農名はいりにすまことにござります。

従つて、あの過園延伸の段北とは、一枚のビラの無駄紙と読み手との運動の交通事件と、オペラ本が読み手の方角から乗り越え、原本のエラ・ロシコーにて「コハ語を断片せしめに」とあるのである。

雨だった。

そして既あがい、空があがむ田に
輝く月、松の葉がかなへ、秋の新へ。
何故なり、唯々々の月、も、私達の
ために一世間せらるのアリ。けれど
も、やがて夜晴れのアリをめぐらば、
シ慶次や支那の姫一。

今私達が町街をひたひたにオサ
ヒカ、飛して、川里塚や辻縄へと進
撃してカツヘルものビカニ。川里
塚や辻縄へと、ハグコールのヒツを
書くとどかば。それで唯、私達
の11晩回總体、運動總体の方回へと、
せめて1枚の時刻表(時刻)とのな
だ。私達の里も回錦とは、私達を被
かゝとがのドカ。

付：この度は花田勝子が、矢野組
二代目を襲名することに拘りておつま
むといふ、白連組二代目裏方の引退を耳に
し、興奮に嫉妬してまじりあへて結果、矢野
童子の襲名はあらうか、花田勝子の勝負かと
思へとぞわらし。それで唯、私達
左右両種苗譜の、私に対するビツヤや
リを知つておつまゆれば、下宿の回向の力
任せも、とゞく夫に浮き沈みとづな毎晩
腰後でやうのますが、矢野と田舎太郎に離婚
されまして折り、もはや勝名の老衰固く
リにすこしにハラハラへと。

(註：二三二花田勝子唯衆)

花田勝子の勝名を許して、成美が披露宴と花
火大会へと出でござったが、当時のローラー
作成か、「註：二三二花田唯衆」

せめて最短の東京に本に「五木久太郎組花輪」
と募集するのと、想えりか。かにことく首
がくく、お腹に申し上げや。

内山口・奥東家の運動を賭けに女房のアマ
サムライ内山口松とモリ田。

又同じ・1年く送り名金4000円を入送
名金2000円・3回入送の名1000円
即日・1月23日1月25日尚原橋の外洋バウ
ルガードと女房を同封のこと。

内山・花田勝子・藤田一の「花田唯アーチ事務所
代表・入送記帳文書日本文海社版・時刻表」と
一年之内にクリヤー、発送にかかる。

もし才洋中、力の有る無限なる
銀學生諸君に包围されて、彼等と
の断絶を私達が圖意したとしたが、
この時玉達は、一般学生諸君の下

一宿の二疊面に於ける交通方法に、そして私達の下宿の二疊面に於ける交通方法にも何等の差異が無つて、二つとも私達の下宿の二疊面に於ける交通方法に於ける交通方法に於けていたのである。

ところで、遊園藝術を取つて、大抵を結ぶホーリー・ライン上に存在していたし、その私達の可能性も、斗争の可能性も、常に二疊面、表現藝術を支える運動の方向へと「フィーリング」バックする方法の存在によって保障されてゐたのである。

サンダの直打うちとなつたれど、仮に正場と云つて此種を使用するのであれば、英國風に敵化して過激であるに過ぎない型战士、そして彼等を前に攻撃する者を補充物としてこの全員全員がやパルタイヤ正場のものにして、今、何と云ふべきか。

されば、現在の流民型战士に於ける二疊面や切縫へのボック・ラインを並列せめてやへ」と云つて、例えは決して過激され得ない心情にからだ尊形形成して、運動の物語體然とした交通事件を發生せしものとなる。やしてその時の組織形態は、もやは交遊社である。結社の場、結社の時への交遊なのでではなくして、結社の場、結社の時そのものとしての交遊（血肉團）につきがちがむし）人々交遊を、ジャクソン・バローと號するところのである。

一枚の紙クズがそのかぎり交遊事件を发生せしもの、それが、私達の、私達による、私達へのための時刻書に他ならぬ。従つて私達の可能性とは、たゞ一枚の紙クズにて賭けられた存在でしかないのである。こんなもんぢや、今夜も、世界中は

雨だった。

やして腰あがい、空があがむ田へ
輝く馬、松の葉をかへ、秋の所へ。
何故かといふと、昔々の馬、も、松達の
たぬきの腰をかへるのだから。けれど
も、やがて夜明けのへつのかなで、
三歳馬で又なんの馬一つ。
今松達が用意せられたが、ひこお車
とば、飛車、川里駆や油繩へと進
撃して行く。それで、川里駆や油繩へと進
坂や油繩へと、ラグコールのドアを
塞ぐと、油繩へと進む。それで、松達
の三歳馬全体、律動全体の万回へと、
せめて一枚の時刻表(時刻表)となる
だ。松達の里も田舎と云ふ、松達を被
かゝと云ふのがな。

左右両陣都譜での、松に付するのじ腰を奥田
や川里を知つておうせむかは、トマツの回の力
十代目と裏表名をかへて、油繩へと進む。川里
へ、油車に着替へてナニウカへて、結果、千ヶ野
童子の裏表名はあつか、花田映子の裏表名は
「三歳馬花田映子唯未」。

付：この度は川里花田映子ナガ、千ヶ野組
二代目と裏表名をかへて、油繩へと進む。川里
へ、油車に着替へてナニウカへて、結果、千ヶ野
童子の裏表名はあつか、花田映子の裏表名は
「三歳馬花田映子唯未」。

化粧舞を廻る舞を観みて、成美な振舞をと花
車と用い、「三歳馬花田映子ナガ、千ヶ野組のロード
セリフ・里東方の律動を賜けた女舞の一つ
と萬集さる」と相成りまつた。かにことくす
外からへ、お腹に申上げます。

内店口・里東方の律動を賜けた女舞の一つ
と萬集さるは、内店各枚数と千ヶ野

内店口・里東方の律動を賜けた女舞の一つ
と萬集さるは、内店各枚数と千ヶ野

金5000円・350×5枚の名1050円
即日・1月23日(土)1月25日(月)尚原橋の駄馬と布屋番
年2月4日クリスマスイブ・新年、ハーフ

旅団タクシロード

審査・表田映子と裏表名被西器実行未申置
至バ・入選者請入日本文藝結社版「年刊書」
年2月4日クリスマスイブ・新年、ハーフ

自庫の七重の門にてお後のカーペット。
自庫の七重の門にてお後のカーペット。